

## 2023年度の収支見込みと来年度の事業予算の考え方

### 1. 2023年度の収支見込み

2023年度におけるカムイワッカ湯の滝利活用検討事業は、これまで自由利用が可能であった1～2の滝の区域において、落石の恐れがあることが新たに判明した為、湯の滝全域を制限利用区域とし、リスク同意や事前予約・決済、ヘルメット装着を義務化するといった利用のあり方を変更した。

利用のあり方変更に伴い、予約サイトや専用Webサイトの構築、SNSを活用した国内外におけるプロモーション、専用シャトルバスの運行、カムイワッカ現地管理の為全期間職員を常駐化させるなどの体制を整備した。これらの主な財源として、観光庁の調査事業「観光再始動事業」の支援を受けた。また利用者より協力金として2,000円（マイカー規制期間中は2,800円）を徴取し、6,049人の利用によって約1,200万円強の収入があり、これを財源に周知チラシの発行や利用者に配布するノベルティの製作、現地用電源としてポータブル電源など現地管理用備品を購入した。さらに斜里町負担金を財源に、繁忙期における路線バスの増便や駐車場警備に係る経費を支出している。

2023年度は観光庁の支援や、利用者数が目標の6,000人を超えたこともあり、支出に対して収入が上回る結果となったことから、収支差額の一部を有事の際の危険負担金として積み立て、残額を次期繰越金とした決算としたい。

### 2. 2024年度の事業予算の考え方

2024年度の主な財源として、利用者協力金と町負担金、2023年度からの繰越金を想定するが、総予算規模は2023年度の約3分の1程度となる見込みである。2024年度の利用者数の目標は、継続による認知度向上や、インバウンドの回復を見込み、8,000人を目標としている。

2024年度は2023年度に構築した予約サイトや専用Webサイトを引き続き活用するため、事業運営に係るイニシャルコストは大きく減額となる見通しである。一方、2023年度と同様に専用シャトルバスの運行や各種プロモーション、カムイワッカ現地における補助員配置や現地管理に係る複数の委託業務が発生するため、予算執行は適正かつ厳正に行い、自立的な運営を目指す。

### 3. 今後の予定

2023年度の事業決算と2024年度の事業予算については、例年6月に実施しているカムイワッカ地区利用適正化対策協議会において報告・提案の予定である。